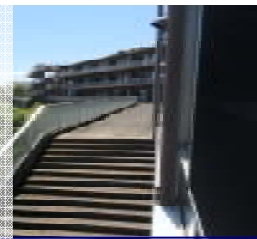


田谷の風

第51号

発行日:令和 6 年 11月 10 日(四半期発行)
 介護老人保健施設ケアポート・田谷機関紙
 〒244-0844 横浜市栄区田谷町 2030-3
 TEL:045-858-5882
 発行責任者:中島典子



舞い踊れそれぞれの想いの先に



パチパチ。パチパチ。「綺麗だねー」ケアポート・田谷の正面は、何やら歓声に包まれています。秋の日はつるべ落とし。ついこの間までセミの音がこだましていた駐車場には、気が付けば静寂を纏った暗闇が、秋の深まりを伝えようとしています。

ただこの日は、いつもと様子が違うようです。
 「次、こっち」「次は、一斉に」



冷たいアスファルトから一斉に吹き上がる火の粉は、まるで噴水の様。ぱつと浮かび上がった瞬間、暗闇へ逃れる職員の姿はまさに黒子です。そう。この日は待ちに待った施設のお祭り。その終幕となる花火大会が、先ほどの歓声の大本でした。

このお祭り、実は、もう20年に渡り続いているイベント。以前は蟬時雨の中、ボランティアの方々と汗をかきかき、たくさんの屋台を出店していました。美味しそうな香りや賑やかな職員の演奏で、ご利用者の胃袋だけでなく、情感まで満たそうと奔走していました。



ところが、世の中に事件が起こります。コロナ時代の到来です。ご入所の方々は、外へ出掛けることができなくなりました。お誕生日の夕食。お買い物レク。みんな中止となりました。まるで鎖国の様相です...

さて、お祭りはどうなったのでしょうか？



この時は、ご家族にはご遠慮頂き屋内で実施するなど、一定のルールの下に行ったようです。長年実行委員長を続けていた、ケアマネージャーの橘さんに当時を振り返って頂きました。



「あの時は、職員皆かなり頭を悩ませました。お祭りはご家族と楽しめる、貴重なイベント。レクリエーションとしての意義と感染症対策。どこに線引きをするか。世の中は、中止もやむなしという情勢だったので」



そして、今年の田谷祭り。いったいどのように行われたのでしょうか？
 残念ながら“全面解除”とはならなかったみたい...

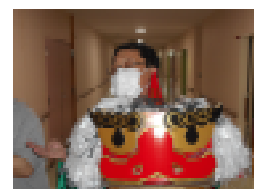


でも、室内で行われたお祭りの会場には、その日に面会に来たご家族の姿が見られました。会場では、職員による獅子舞が歓声とともに舞い踊ります。そして手作りお神輿の姿も。まだまだ元通りとは言えませんが、少しずつかつての賑わいを取り戻しつつあるようです。先ほどの橘さんはこう話します。



「コロナ禍以前と比べるとやっぱり状況は違いますが、ご利用者の方々に満足頂ける、楽しんで頂ける最良のものを提供するという部分においては、違いはないはずです。これからもご利用者の安全と心の安寧を求め、イベントを計画できればと思います」

獅子舞のルーツはインドにあるようですが、日本各地に伝来し、地域に合わせ多種多様の祈願がなされているようです。これから、ケアポート・田谷の獅子舞はどのように躍動し、願いを叶えていくのでしょうか？職員の努力は今後も続きます。



リハ科課長：清家伸二

田谷祭り



ここ数年コロナの影響によりなかなか開催ができていない状況が続いていました

が、今年は田谷祭りを開催することが出来ました。

夕方から職員による獅子舞とお神輿を担ぎ、その後はギターを演奏しながら歌

をうたい盛りあがることが出来ました。因みに獅子舞とお神輿は職員による力作となっています。

夕食は、屋台メニューで、焼きそば・カレーライス・焼き鳥・おでん・揚げたこ焼き・焼き餃子・紅白ケーキ・チョコバナナ・綿あめ・水ようかんと提供し、皆様沢山おかわりをされ、お腹いっぱいになるまで食べられていました。



夕食後は、クライマックスの花火を開催。当日天気には恵まれましたが、肌寒い中で観覧となりましたが、夜空に輝く花火を楽しまれていました。

来年も今年以上の田谷祭りを開催できるように、頑張っていきたいと思います。

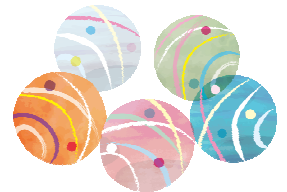
2 階介護：副主任 柴田 弥生 渋谷 長生

わっしょい！



夏は過ぎ～風あざみ～誰のあこがれにさまよう

福島の祖父母の家の近くには小さな神社があり、ある年偶然にもお祭りに参加することができました。祖母にねだって水ヨーヨーを買ってもらいました。見知らぬ女の子に淡い恋をしたとか甘酸っぱい思ひ出（笑）では決してないのですが、何故か夏が過ぎると思い出す少年時代の思い出です。



さて、先日施設で夏祭りが開催されました。

祭り委員として今年は参加となりましたが、いつ

もと違うのは、段ボール御神輿を作るという大役を仰せつかったことです。実は去年の祭りで御神輿を披露するはずでしたが、コロナの流行があり、祭り自体が中止になったことで神輿の作成も途中でした。改めて今年に入って祭りの一か月ちょっと前から作成を再開しました。

なにしろ段ボールはたくさん手に入ります。インターネットで段ボール神輿と検索をかければ作り方、画像がでてくるので全体像をイメージしながらパーツを作り組み立てて固定するだけです。さすがに鳳凰の飾りや鈴、紅白紐等は専門店で買いましたが、その他は全て手作りでした。色を塗ったり、金紙を張り付けたりして時間を見つけては少しずつ作業を進めました。出来上がった御神輿は強度が足りなかったのですが、我ながら上手く出来たと自負しております。

祭り当日は職員4人で担いでもらい、僕が司会を担当しました。ワッショイ、ワッショイの掛け声と共に練り歩く神輿は壮観の一言に尽きます。つかえ、つかえの拙い司会でしたが職員や利用者様の楽しそうな声に押されてなんとかやり遂げる事が出来ました。

皆さんが喜ぶ姿を拝見しとても満足な一日でありました。ちなみに小学校や保育園でも子供神輿として作ることがあるようです。お子さんのいる家庭では一家に一基（笑）どうでしょうか？神輿を作るお薦めの道具等アドバイスが出来るかもしれません。お声を掛けていただければと思います。

3 階介護副主任：齋藤 克彦



楽しかった敬老会



いよいよ秋も深まって参りました。今年も敬老会を開催させていただきました！

今年の2階フロアの敬老会では、7名の方を表彰し、お花と職員手作りの色紙をお渡ししました。百寿が1名、白寿が1名、米寿が5名でした。

表彰の後は職員による出し物です。楽器の演奏と踊りを披露しました。

演奏は南米の楽器を使用し、4曲披露しました。職員日々の業務の中楽器の練習をして、何と音合わせは当日の一回のみ行ったそうですが、見事な演奏でご利用者も手拍子をされ楽しまれていました。

踊りは花笠音頭を披露し、ご利用者には職員手作りの花笠を持ってもらい参加していただきました。ご利用者の中には職員と一緒に踊ってくださる方もいらっしゃり、フロア全体で盛り上がりしました！

敬老会が無事終了し、ご利用者から「楽しかったわ」と言っていただき、職員一同とても嬉しく思います。

来年もご利用者にとって楽しく笑顔が溢れる会にしていけたらと思います。

2階介護：塚田和孝 栃木悠希



敬老会おめでとうございます。

暑かった夏も終わり、季節が秋に変わろうという頃に、今年も敬老会をおこなうこととなりました。近年はコロナ感染症によって施設全体としての開催が難し

く、今年も各フロアごとの開催となりました。

今年の3階フロアの敬老会では、節目のお祝いのご利用者が、2名いらっしゃいました。

百寿のご利用者が1名、米寿のご利用者が1名でした。職員手作りの色紙とお花を、贈らせて頂きました。

その後は日々の業務の合間を縫って練習した職員から、花笠音頭を披露させていただき、ご利用者も楽しく喜んで見ておられました。その後は職員手作りのミニゲーム(的投げ・ボーリング・魚釣り)をご利用者全員と



職員とで行い、楽しい充実したひと時を過ごしました。敬老会の最後は、業務の合間に練習を重ねた、職員3名による南米の楽器を駆使した演奏を披露致しました。素晴らしい演奏と音色にご利用者も喜ばれ、皆で手拍子等行い、大いに盛り上がりました！

今年もフロアごとの敬老会となりましたが、ご利用者の笑顔が見られ、職員一同嬉しく思います。

来年もまた、ご利用者の笑顔が見られる会として、敬老会を行えるようにしていきたいと思います。



3階介護：阿久根徹也

心も体もはずませて

少し肌寒さを感じる風と共に夏が終わり、紅葉が見ごろを迎えようとしています。皆様は、いかがお過ごしでしょうか。



デイでの活動内容を紹介させていただきたいと思います。作業活動は、作業週間として、季節の花を模した折り紙手芸や絵手紙、習字等を選び、取り組まれています。折り紙手芸を選んだご利用者の方には、ご自身で折れる方とお一人では難しい方といらっしゃるため、職員がサポートさせていただきながら、各パーツを制作しています。それぞれのパーツを組み合わせると一つの作品が完成するのですが、出来上がった作品を目にし、喜ばれる姿は、皆さん同じです。作品の出来栄については、ご参加いただいた匠人に伺って



みてください。絵手紙は、見本をもとにそれぞれの匠人が、味のある作品へと昇華してお持ち帰りになられています。こちらぜひご覧になってください。また、その他として、ご自身のペースで、アイロンビーズや塗り絵、読書、施設で準備した脳トレプリントなどにも取り組まれています。

またレクリエーションは、運動レク・脳トレレクをおこなっています。今回は、右写真の運動レクのご紹介をさせていただきます。レクリエーションの名前は、バウンドボールです。ルールは簡単。目の前に置かれた点数が書かれたカゴヘテニスボールをバウンドさせて投げ入れるというものです。ルールは簡単なのですが、実際に投げてみるとこれが難しい。ボールのはね具合でおもった所にはなかなか入りません。高得点のかごも職員が意地悪な場所に置いてあったりします。



チームプレイであるためみなさん高得点を狙って投げるのですが、仲間の応援もあるなか、ねらった通りに入らず、悔しい思いをしたり、思いがけない高得点にみんなが驚いたり非常に盛り上がります。身体を動かすだけでなく様々な感情があふれるレクリエーションです。



また脳トレをレクリエーションで行う日がありますが、こちらでは男性ご利用者の活躍に目を見張ります。普段物静かに本を読まれているご利用者が、われさきにと答えを述べられます。ご利用者のみなさまが、それぞれの得意分野で力を発揮されている姿に感心させられます。これからもいろいろなレクリエーションを考えてみなさまと楽しみながら身体機能の向上をサポートしていければと思います。

高めあう作品



通所副主任：上野巨

4月に入職いたしました、東間かおりです。
趣味は推し活・映画鑑賞・飼い猫を愛でることです。

デイでは週替わりで、習字・折り紙・絵手紙を作業活動として行っています。因みに、私は折り紙を担当しているのですが、ご利用者同士が、談笑されながら制作に励まれていたり、先に作り終えたご利用者が、後からご参加頂いた方に教えてくださる事もあり、とても和やかな雰囲気での活動ができています。



かくいう私もご利用者よりアイデアやアドバイスを頂く事が、結果、より華やかな作品に仕上がっていきます。

これからも、ご利用者とともに楽しめる作品を考えていけたらと思います。

